

## 第 4 回小笠原諸島世界自然遺産候補地地域連絡会議

### 議事要旨

#### 会議の日時・場所

開催日時：平成 19 年 6 月 3 0 日（土）1 4 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分

場所：小笠原ビジターセンター 会議室（増築棟）

#### 議事要旨

##### 1. 開会

議事進行を事務局長（関東地方環境事務所長）の代行として中山首席自然保護官（環境省小笠原自然保護官事務所）が行う旨、了承を得た。

#### 挨拶

小笠原村 森下村長

東京都 前田小笠原支庁長

#### 出席者の紹介、出欠

・東京都島しょ農業協同組合：大澤理事が体調不良のため、急遽欠席

#### 資料確認

##### 2. 議 事

###### （1）世界自然遺産推薦に向けた取り組みの進め方について

事務局（中山首席自然保護官及び柳川自然保護官）により、遺産推薦に向けた今後の主な手順と取り組みの進め方、管理計画の検討・作成に向けて、管理計画の目

的や位置づけについて、知床の管理計画を例に説明がなされた。(資料1 - 1、1 - 2、1 - 3、1 - 4)

- ・ 事務局長代行より、遺産推薦に向けた取り組みの進め方について意見照会がなされた。異議はなく、資料1 - 2のスケジュールについて、了承された。

## (2) 科学委員会外来種対策・自然再生部会の設置について

事務局(中山首席自然保護官)により、科学委員会に外来種対策・自然再生部会を設置すること等について、説明がなされた。(資料2)

- ・ 事務局長代行より、科学委員会に新設が検討されている「外来種対策・自然再生部会」に地域連絡会議メンバーから小笠原村観光協会と小笠原母島観光協会が出席することについて意見照会がなされた。異議はなく、了承された。

## (3) 外来種対策の実施状況について

事務局(中山首席自然保護官、小野国有林課長、大道副参事、岩本副参事)により、外来種対策の実施状況の概況と、実施機関毎に平成18年度事業結果及び平成19年度事業計画について報告がなされた。(資料3 - 1、3 - 2、参考資料2)

### 【主な質疑・意見】

- ・ ガジュマルについては取り組まれていないが、これからは侵略的外来種として脅威になる。最近では、実生の生長が1mに達するものも見られ、今まさに潜伏期。対策を講ずる外来種のひとつに含め、何とか対処を考えてほしい。
- ・ 南島に残っているモクマオウの対策をしっかりとすべき。
- ・ アカギ・モクマオウの伐採材の有効利用を考えるべき。木質バイオマス発電プラ

ントを、小笠原にも支店のある建設会社が都内に建設した。小笠原でも外来樹木駆除に関連して考える必要がある。

事務局：有効利用は、良いことなので考えたい。ただし、利用のために伐採材の搬出が必要で、その手間とコストのために駆除が進まなくては本末転倒である。

- ・外来生物の意図的、または、非意図的な導入を防ぐための検疫システムの確立が必要。

事務局より、検討のための基礎的な調査が開始されていることについて紹介。

- ・母島ではアカギなどについて、駆除を推進するのはもちろんだが、さらに木材としての利用も含めて考えていきたいという意見が多い。

事務局より、有効利用のための取り組みを実施していることを紹介。

- ・アカギは農地にも侵入しているため、農業者とも連携しつつアカギ駆除を進める必要がある。

事務局より、農地におけるアカギ対策について、技術の普及を図る計画があることを紹介。

#### (4) その他について

井上自然公園担当課長より都レンジャーの母島配置及び世界自然遺産に関する普及啓発のDVD、リーフレット作成について、柳川自然保護官より世界自然遺産に関する講演会の実施について、中山首席自然保護官より科学委員会の開催日程（7月31日都内で実施予定）及び次回日程の想定について説明があった。

#### 4. 閉会挨拶（林野庁関東森林管理局 河岡自然遺産保全調整官）